



第59期 事業のご報告

2014年4月1日～2014年9月30日

We love “TATEMONO”



証券コード：1795

株主の皆様へ



代表取締役社長

刈谷 純

拝啓、平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当連結会計年度となる、ここ半年間の我が国経済は、ウクライナ・ロシア両国間の関係不安定化、欧州経済の低迷、エボラ出血熱感染地域の拡大等の国際的懸念事項の影響の他、消費税引上げ前の駆け込み需要の反動減が予想以上に大きかったこと、消費増税により実質所得が減少したこと、台風等による悪天候が続いたこと等が影響し、個人消費の回復が緩慢なものとなり、ほぼ全期間で景気が低迷しました。

建設業界におきましては、これまで前倒しで実施されてきた公共投資が僅かに減少したものの、民間建設投資では緩やかな回復基調が継続しました。しかしながら、労務需給逼迫による労務費の上昇、円安等による建設資材の高騰により、地方公共団体施設、分譲マンション、小売業大型施設の一部で建設延期の動きが見られる等、業界を取り巻く経営環境は依然として予断を許さない状況が続きました。

このような状況のなか、当社グループは中期経営計画「つねに発展し続ける未来型企業を目指す!」の2年目の方針として「フレキシブルに対応できる企業を目指す」を掲げ、市場の変化や労働環境の変化に迅速に対応できる企業体質の強化を目指してまいりました。技能員の年齢構造の変革を目指した「技能イノベーションプロジェクト」では、自社での技能社員雇用を開始し、中核となる技能員グループを形成した他、新規採用活動にも積極的に取り組んでまいりました。「マーケティングリサーチ」にも着手し、これまで培ってきた技術力を活かしつつ、新規分野、新規顧客の開拓に注力しました。また、経営方針を徹底することにより、積極的にお客さまのニーズにお応えしつつも、受注内容や工事工程の変更に対して工事利益の採算性に留意した的確な対応ができる体制作りを目指してまいりました。

その結果、当連結会計年度の受注高は、48億66百万円となり、売上高は、32億90百万円となりました。利益面におきましては、生産性の向上を図り、不採算工事の受注回避に注力したこと等により、当初予想を上回り、営業利益29百万円、経常利益22百万円、当期純利益3百万円となりました。

株主の皆様には引き続きご支援、ご指導を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

2014年12月

財務ハイライト

当連結会計年度の業績

■売上高

3,290百万円

■経常利益

22百万円

■当期純利益

3百万円

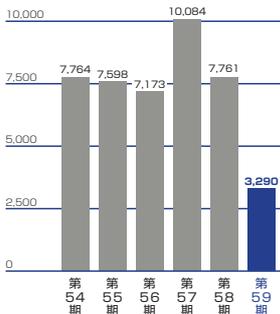
■1株当たり当期純利益

83銭

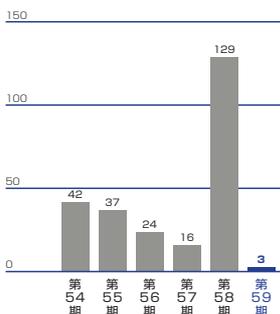
財務ハイライト



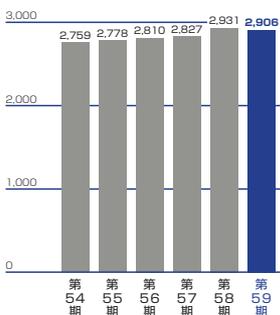
売上高 (単位:百万円)



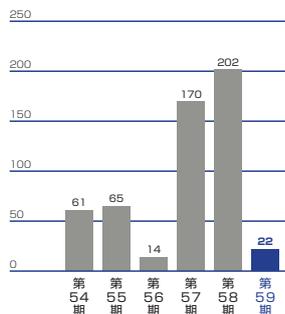
当期純利益 (単位:百万円)



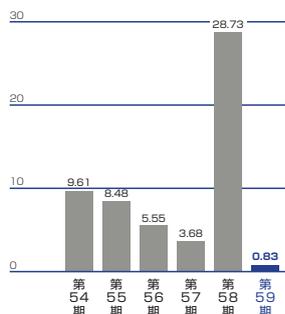
純資産 (単位:百万円)



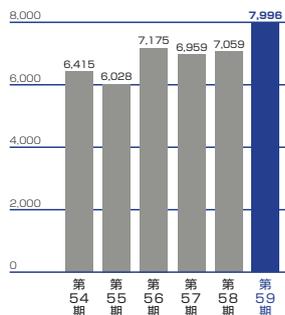
経常利益 (単位:百万円)



1株当たり当期純利益 (単位:円)



総資産 (単位:百万円)



	第54期 2010年3月期	第55期 2011年3月期	第56期 2012年3月期
売上高 (百万円)	7,764	7,598	7,173
営業利益(△損失) (百万円)	55	47	△23
経常利益 (百万円)	61	65	14
当期純利益 (百万円)	42	37	24
総資産 (百万円)	6,415	6,028	7,175
純資産 (百万円)	2,759	2,778	2,810
1株当たり当期純利益 (円)	9.61	8.48	5.55
従業員数 (人)	76	77	91

	第57期 2013年3月期	第58期 2014年3月期	第59期 2014年9月期
売上高 (百万円)	10,084	7,761	3,290
営業利益 (百万円)	184	201	29
経常利益 (百万円)	170	202	22
当期純利益 (百万円)	16	129	3
総資産 (百万円)	6,959	7,059	7,996
純資産 (百万円)	2,827	2,931	2,906
1株当たり当期純利益 (円)	3.68	28.73	0.83
従業員数 (人)	89	95	110

※ 当社は第56期以降連結財務諸表を作成しております。よって財務ハイライトの数値は、第54期・第55期はマサル単体の数値、第56期から第59期は連結の数値を記載しております。

※ 第59期(2014年9月期)は決算期変更により、2014年4月1日から2014年9月30日の6ヶ月間となっております。

財政状態の概況



資産・負債の状況 第59期(2014年9月期) (単位:百万円)

流動資産	6,865	流動負債	4,603
固定資産	1,131	固定負債	486
資産合計	7,996	負債合計	5,090
		純資産合計	2,906
		負債純資産合計	7,996

キャッシュ・フローの状況 第59期(2014年9月期) (単位:百万円)

営業活動によるキャッシュ・フロー	203 (収入)
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7 (支出)
財務活動によるキャッシュ・フロー	△107 (支出)
現金及び現金同等物の期末残高	550

工事のご紹介

主な施工中工事のご紹介



(仮称) 豊洲3-2街区開発計画
(シーリング防水工事)



聖路加ガーデンオフィス棟レジデンス棟外壁シーリング更新工事
(リニューアル工事)



(仮称) 小豆沢1丁目計画 西敷地 新築工事
(メンブレン防水工事等)

主な当期完成工事のご紹介



虎ノ門ヒルズ
(シーリング防水工事)



京王吉祥寺駅ビル建替工事（開発推進）その1
(リニューアル工事)



豊洲IHビル
(メンブレン防水工事等)

対処すべき課題

会社の対処すべき課題

中長期的には、わが国の建設市場は、2020年東京オリンピック、国土強靱化計画等により、拡大傾向にあるものの、労務逼迫、建設資材の高騰による建築コスト上昇の懸念もあり、先行き不透明な状況が続くものと予想されます。また、建物の品質維持・向上への社会的要請は強く、従来以上に品質管理、技術力向上が求められています。

当社グループは、信頼される専門家集団が、差別化された技術力をお客様に提供し続けることができるよう変革を続けてまいります。併せて、人材を育成し後継者を育てるとともに、社員がビジョンを持って業務に励むことで、企業収益を継続的に生み出す体制を維持し、社業の持続的発展を目指します。大きく変化する経営環境の中でも、お客様のニーズに積極的にお応えできるよう、「施工管理の強化」「営業力強化」「技能・技術の伝承」「ITの活用」を推進してまいります。

中期経営計画（※2013年4月～2015年9月）では、「つねに発展し続ける未来型企業を目指す!」との会社方針に基づき、時代の変化に対応した創意工夫・改善を追求し、顧客の継承と拡大に努めてまいります。更に、当期より「技能イノベーションプロジェクト」を立ち上げ、我が国の社会的要請でもある建設技能員増強の一助を為すべく、技能員の雇用条件改善と技能継承を目指し、技能社員の自社での採用と育成に取り組んでおります。また、新たに「マーケティングリサーチ室」を設置し、新規顧客の開拓、技術開発による新規分野の開拓にも注力しております。

※決算期の変更により、現行中期経営計画の実施期間を、2013年4月～2016年3月から、2013年4月～2015年9月に変更しております。

株式の状況

株式の状況 (2014年9月30日現在)

発行可能株式総数…………… 17,300,000株
 発行済株式の総数…………… 4,505,757株
 株主数…………… 602名

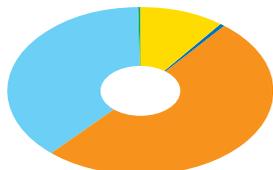
大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
株式会社 操 上	900,000株	20.03%
株式会社 苺 谷	640,000	14.24
化研マテリアル株式会社	215,500	4.80
苺 谷 純	202,225	4.50
マサル協力企業持株会	198,700	4.42
株式会社みずほ銀行	188,650	4.20
野口興産株式会社	132,100	2.94
マサル従業員持株会	131,029	2.92
日本生命保険相互会社	129,200	2.88
菅野産業株式会社	110,000	2.45

(注) 1. 当社は自己株式 (11,950株) を保有しております。
 2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

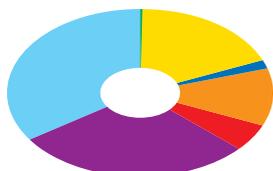
所有者別株式分布状況

■金融機関	6名	469千株	10.41%
■証券会社	5名	3千株	0.08%
■その他国内法人	31名	2,300千株	51.05%
■個人・その他	557名	1,718千株	38.15%
■外国人	2名	1千株	0.02%



所有株式数別株式分布状況

■1~999株	89名	4千株	0.09%
■1,000~4,999株	462名	832千株	18.46%
■5,000~9,999株	14名	81千株	1.81%
■10,000~49,999株	22名	491千株	10.91%
■50,000~99,999株	4名	236千株	5.23%
■100,000~499,999株	8名	1,307千株	29.01%
■500,000~999,999株	2名	1,540千株	34.17%



会社概要

会社の概況 (2014年9月30日現在)

社 名 株式会社 マサル
 設 立 1957年9月
 本 社 東京都江東区佐賀一丁目9番14号

従 業 員 数 94名
 営 業 所 第1営業部 (東京都江東区)
 第2営業部 (東京都江東区)
 第3営業部 (東京都江東区)
 たてもの改装部 (東京都江東区)
 千葉営業所 (千葉県市川市)
 (株)塩谷商会 東京都大田区蒲田三丁目23番7号

取締役および監査役 (2014年12月22日現在)

代表取締役社長 苺 谷 純
 取締役副社長 操 上 悦 郎
 常務取締役 齊 藤 一
 取締役 照 井 良 二
 取締役 山 崎 栄 一
 取締役 大 木 信 雄
 常勤監査役 内 藤 龍 夫
 社外監査役 柴 谷 憲 晃

株主優待制度について

当社は決算月 (9月末) および中間決算月 (3月末) 現在で一定株数以上保有の株主様に対しまして、「ジャンボ宝くじ」を贈呈いたしております。

株主優待の内容

9月30日現在で3,000株以上保有

◆「年末ジャンボ宝くじ」10枚贈呈

3月31日現在で1,000株以上保有

◆「サマージャンボ宝くじ」10枚贈呈

※ 発送は宝くじ発売初日を予定しております。

(発売月の目安)

年末ジャンボ宝くじ…………… 11月
 サマージャンボ宝くじ…………… 7月

株主メモ

事業年度 毎年10月1日から翌年9月30日まで
 定時株主総会 毎年12月
 基準日 定時株主総会 毎年9月30日
 期末配当 毎年9月30日
 中間配当 毎年3月31日

株主名簿管理人および
 特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 〒168-0063

郵便物送付先 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

電話照会先

(インターネット
 ホームページURL)

<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
 証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告の方法

電子公告とします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載して行います。
 公告掲載URL <<http://www.masaru-co.jp/>>

上場金融商品取引所

東京証券取引所JASDAQ (スタンダード)

We love "TATEMONO"



〒135-8432 東京都江東区佐賀一丁目9番14号

Tel 03-3643-5859 Fax 03-3643-5481

<http://www.masaru-co.jp/>